



宮下恵里花
能作研究室

庭路地のリビング

敷地：大田区南馬込

用途：共有路地・施設+住宅



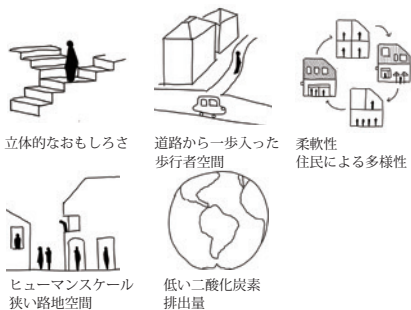
0. コンセプト

地形が入り組んだ住宅街「南馬込」は階段によって袋小路化し、車が通過できない路地を多くもつ。それは車と切り離して住む可能性になるのではないか？本提案では、袋小路化した路地のひとつを敷地として選定し、路地の入口に関門を設け、車のために整備されていたコンクリートを土に戻し、共有の水回りを路地に配置することで、庭のように地域のリビングとなる路地とそれに面する住居のあり方を提案する。

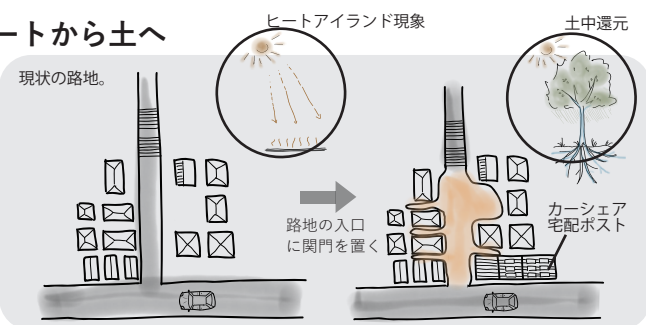


1. 南馬込の魅力と谷戸地形

2. ウォーカブルな路地の可能性

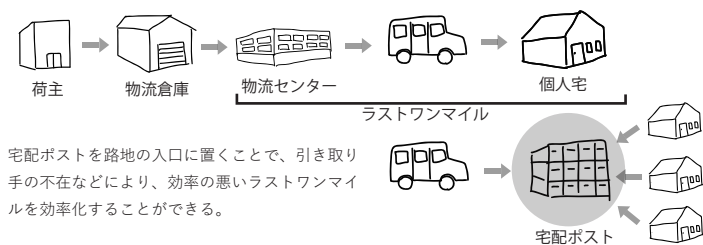


3. コンクリートから土へ



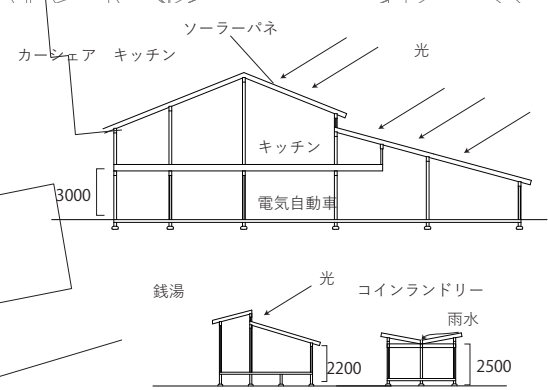
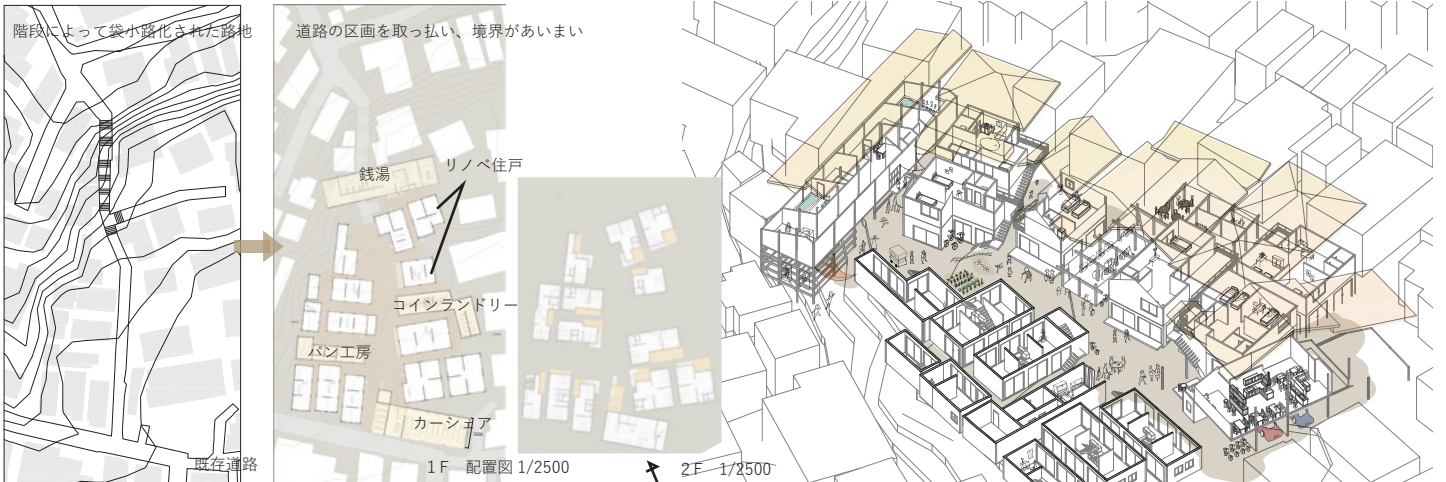
コンクリートの区画と塀により、それぞれが閉鎖的で完結型の住宅である。車を排除し、歩行者だけの空間が創られる。コンクリートの区画は必要なくなり、土に還ることができる。

4. 宅配クライシスの解消



5. 小学校の安全な通学路として





6. 住宅の在り方を考える

